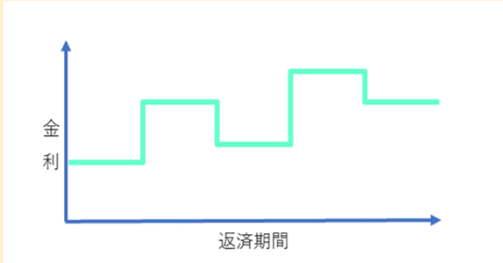
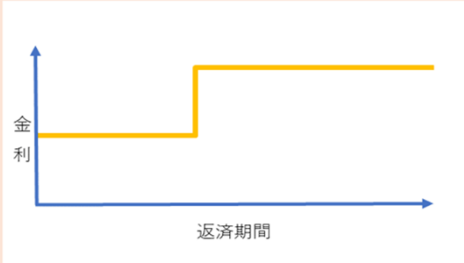
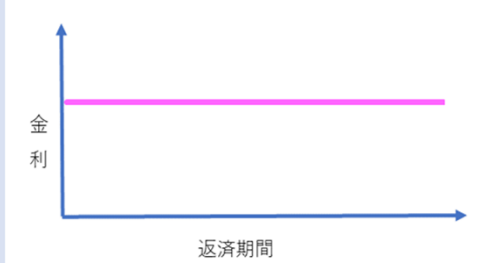
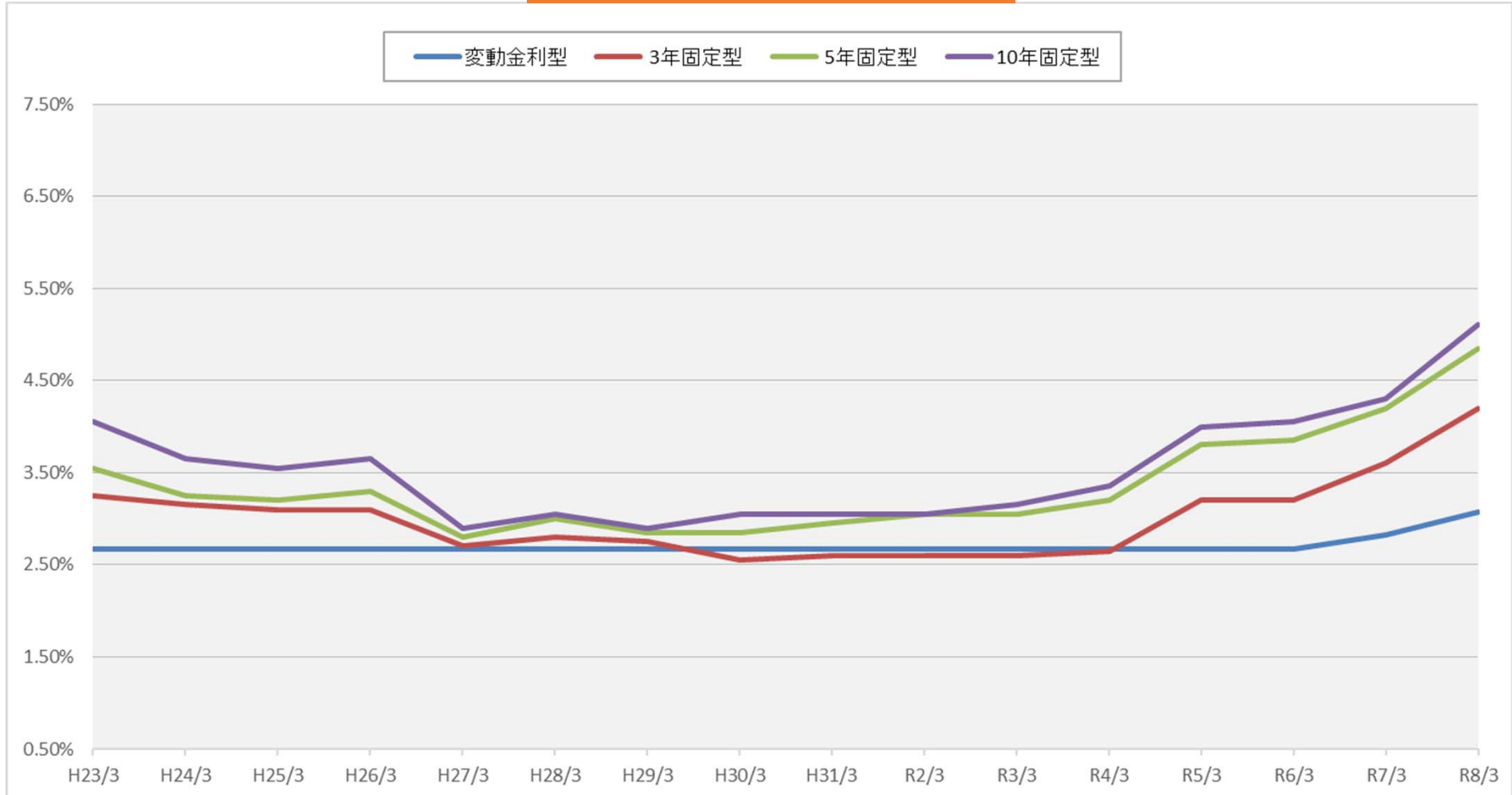


住宅ローン金利タイプ比較表

	変動金利型	固定金利期間特約型	全期間固定型
特徴	日本銀行の政策金利等に応じて決定される金融機関の短期プライムレートに概ね連動し、半年ごとに見直される	当初一定期間（3年・5年・10年）は金利が確定。期間終了後は変動金利となるが、固定金利の再選択も可能	借入時に返済終了までの金利が確定
イメージ			
当初金利	低い	固定期間が長いほど高い	高い
金利上昇リスク	あり	固定期間中はなし	なし
メリット	・金利低下の恩恵を受けられる ・当初の返済負担が比較的軽い	・一定期間は返済額が変わらない ・金利情勢に合わせ、再選択できる	・返済額が変わらず安心 ・家計管理がしやすい
デメリット	・金利上昇時に返済額が増加する ・将来の返済負担が見通せない	・固定期間終了後に返済負担が増える可能性がある	・金利が高めに設定されている ・金利低下の恩恵を受けられない
おすすめの方	・当面の返済額を抑えたい方 ・金利が上昇しても返済に無理のない方	・一定期間の支出計画を重視する方 ・金利上昇は心配でも、全期間固定ほど金利負担を増やしたくない方	・金利上昇が心配な方 ・将来的な繰上げ返済を前提としない返済計画の方

住宅ローン基準金利の推移



現在、金利は上昇傾向にあります。

令和6年3月に日本銀行がマイナス金利政策を解除して以降、政策金利の引上げを受けて変動金利も上昇しています。将来的にも金利は上昇する可能性があり、住宅ローンの返済金額も借入当初より増加することが考えられます。

